

# 令和元年度 学校評価

江原北幼・小学校

## 1 保護者用アンケートより

### (1) 幼稚園

本年度も園児数は4名(年少1名, 年中2名, 年長1名)であった。アンケート結果を見ると, 10項目中8項目については, 肯定的な回答であった。否定的な回答があったのは, 「子供は, 早寝早起きや朝食をとる習慣がついている」(1名), 「10. 園の施設や設備は子供が生活しやすい環境になっている。」(1名)であった。

なお, 幼稚園における生活習慣の指導はもちろんのこと, 家庭生活での習慣取得に向け, 更なる保護者との連携を図っていく必要がある。また, 家庭で園のことを話せるようよりいっそう楽しい園経営を心がけたい。

幼稚園での指導面については, 「そう思う。」との回答が多く, 今後も引き続き指導の充実に努めていきたい。

- ◎ 今年度, 保護者からのご意見や感想等は無かったが, 機会を捉えて保護者のご意見等を伺って園経営に活かして生きたい。

### (2) 小学校

今回のアンケートの集計結果において, 「1. 学校生活(楽しく登校)」の質問に否定的な回答は「あまりそう思わない。」(1名)であった。残る方は肯定的な意見であるが, 少数とはいえ否定的な回答があったことを真摯に受け止め, 更なる児童理解を深め, 楽しい学校づくりに努力したい。

また, 肯定的な意見が90%以下となったのが, 「4. 早寝早起き, 朝食(76%)」「5. 学校での様子を話す(79%)」であった。学校においても早寝早起き・あいさつの習慣化を図るべく指導をいくが, これらのことについては学校のみならず家庭での取り組みも重要となる。学校と家庭が連携して, 早寝早起き・あいさつの習慣化を図っていきたい。

また, 児童に対する教職員の指導については「6. 基本的な生活習慣・学力(93%)」「7. 子供理解(90%)」「体力づくり・体力の向上(93%)」「9. 家庭や地域との連携(97%)」と多くの方に肯定的な回答が得られたが, 目の前の子どもたちを見るとまだまだ取り組まねばならないとの思いがある。今後も家庭と連携し, 取組の充実に努めていきたい。

- ◎ 保護者からのご意見や感想等

- ・複式学級は内心, 不安なところもありました。しかし, 毎日, 楽しそうにしている子供の姿を見ていると, これも, 単式の学級では味わえないものだと思います。
- ・少人数のクラスなので自分の役割を考えて動けるようになるのは難しいかなと6年になった時は思っていました。しかし, 少しずつ自分で考えたり, できなかった所は, 他の人に相談してやっていけるようになりました。ありがとうございました。
- ・給食エプロンを持って帰った時, 乱れた状態で持って帰ってきています。きれいにたたむ事等の基本的な生活習慣の大切さを教えていただきたいです。
- ・生徒の人数が減ってきて, 数年後には江原南への合併になるのかなと思っています。少人数から多人数になるので, 今から少しずつ交流をしていって欲しいです。
- ・子供の数が減ってきて仕方ないと思うのですが, 学力向上の為に複式学級はやめてほしいです。

## 2 児童用アンケートより

- ・ 86%の児童が学校が楽しいと回答しているが、「あまりそう思わない」(4名)いる。すべての児童が学校が楽しいと回答できるよう、絶えず生活チェックシート等を活用し、いじめ問題も含め全教職員の共通理解のもとで取り組んでいきたい。
- ・ 毎年「気持ちのよいあいさつ」の励行について指導してきている。昨年度よりも4ポイント肯定的な意見が増えてきているが、否定的な回答も24%あった。一朝一夕に効果は表れないものではあるが、社会生活の基本であるあいさつについて、今後とも指導を続けていきたい。
- ・ 「就寝時間」については72%と昨年度より10ポイント良くなっているが、「起床」については45%の児童が保護者の手助けをしてもらって起きているとの回答であった。学校の指導はもちろん、家庭との連携をより進め基本的な生活習慣の定着を図ってしていきたい。
- ・ 「読書」について肯定的に回答した児童が少なく、継続的な指導が必要である。
- ・ 学校や教師に対しての問いに対しては、ほぼ満足している児童が多い。今後も、「よくわかる授業」をめざし、きめ細やかな指導の充実を図っていきたい。

## 3 教職員の自己評価より

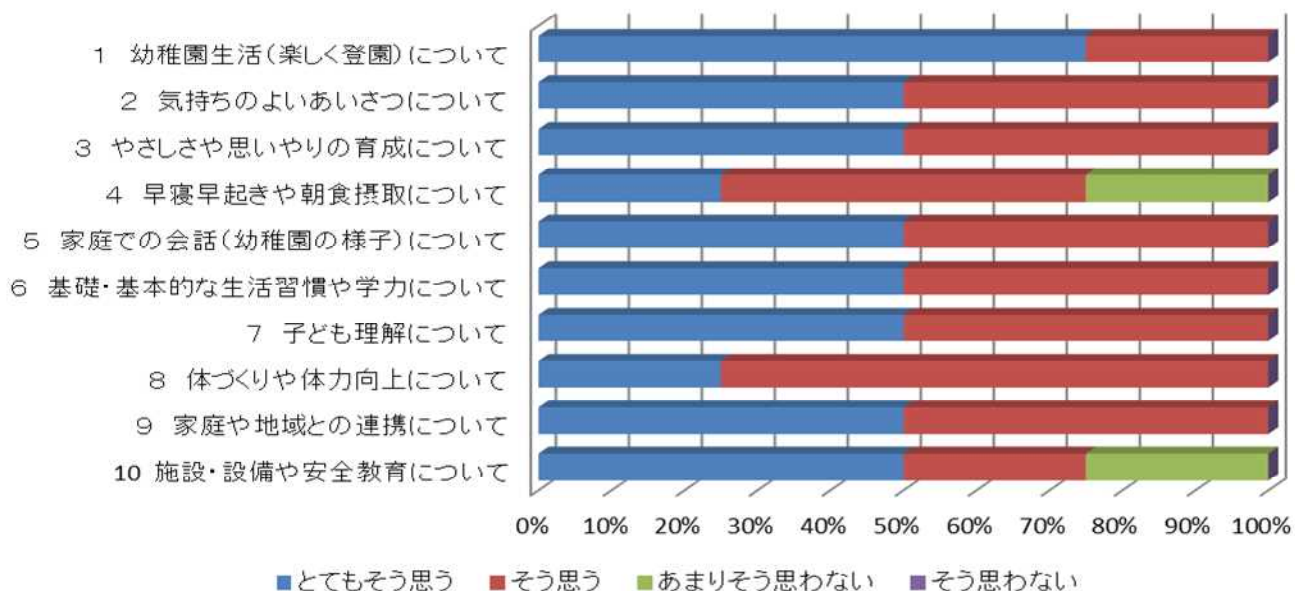
- ・ 職員数減少により校務分掌が増加したことや複式学級へ対応するために教材研究が増えたことで、教職員一人一人に負担が重くのしかかっている。思い切って学校運営を見直し、教育目標を絞り込んで、本校児園児・児童に必要なことだけを重点的に行っていく必要がある。

## 4 学校評議員による評価より

- ・ 少人数の良さを生かし、一人一人の園児、児童への指導が行き届いている。その良さを積極的に発信して欲しい。
- ・ 子供の数が減少してきているが、運動会や学習発表会等の行事を参観しても他校にひけをとることがない。先生方の指導に感謝する。
- ・ 子供の数の減少で行事等の運営で難しいことがあったら行事の削減も考えられる。が、学校として残していきたい行事等に関しては、地域を巻き込んで実施できるように工夫しても良いのではないか。婦人会、老人会等が率先して学校のために協力するよう地域の人に働きかけていく。

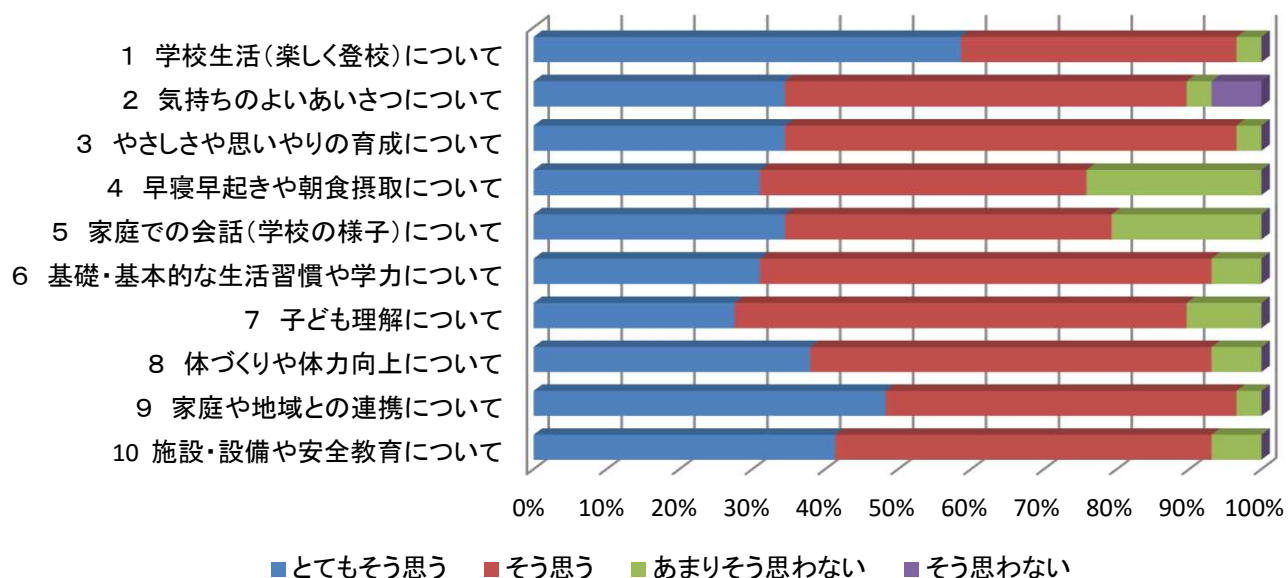
## 令和元年度幼稚園保護者アンケート

### 教育活動等アンケート保護者集計結果



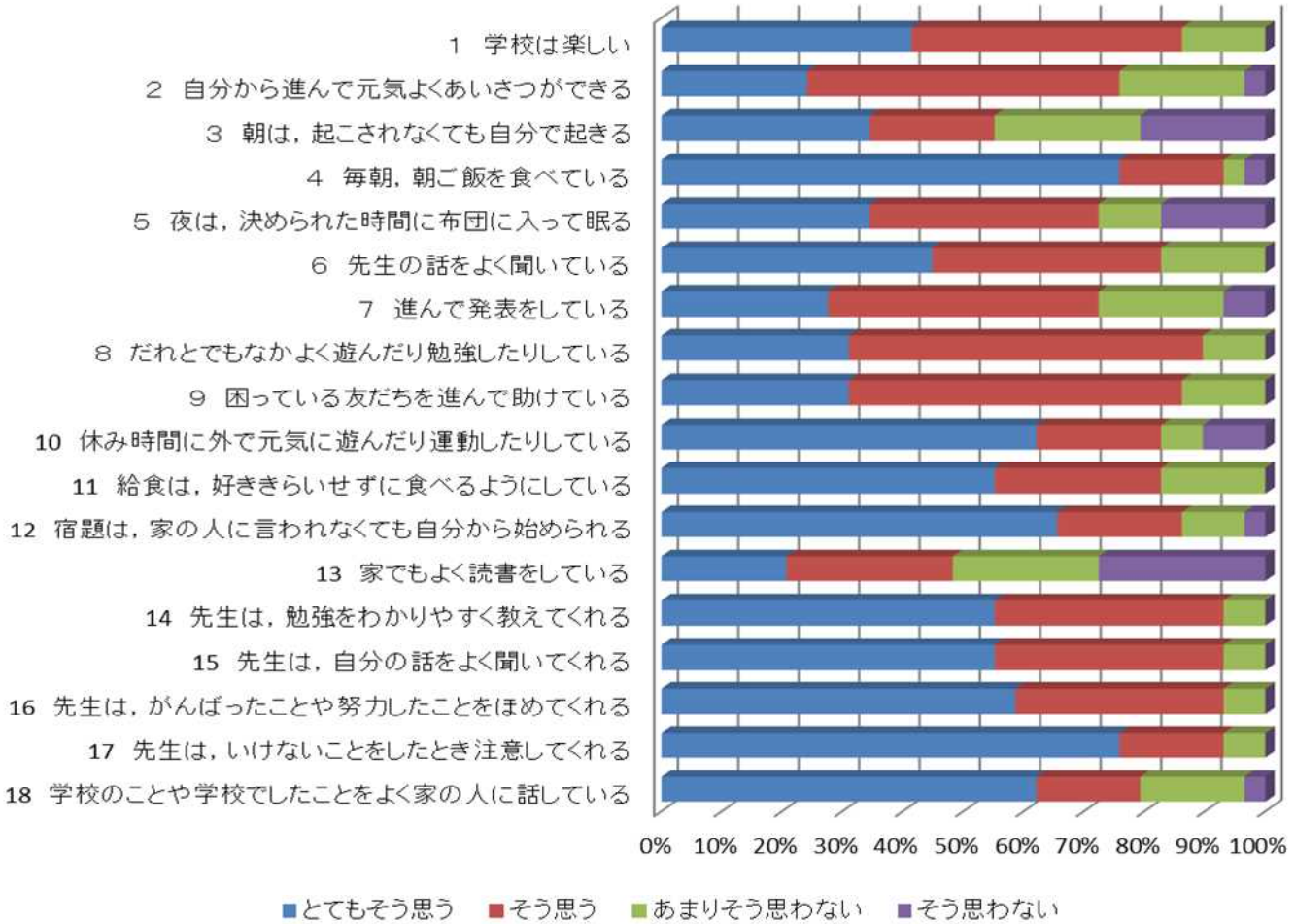
## 令和元年度小学校保護者アンケート

### 教育活動等アンケート保護者集計結果



# 令和元年度 児童アンケート

## 1年間をふりかえってみよう(児童集計結果)



# 令和元年度自己評価

## 教職員学校評価アンケート集計結果

